

## 第Ⅰ章 沿革と目的

### 第1節 計画策定の沿革

国指定史跡「能美古墳群 寺井山古墳群・和田山古墳群・末寺山古墳群・秋常山古墳群・西山古墳群」(以下「史跡能美古墳群」とする。)は、平成25年10月17日付で既指定の和田山・末寺山古墳群と秋常山古墳群を統合し、新たに寺井山古墳群と西山古墳群を追加指定することによって「能美古墳群」と名称を変更し、一体的な国史跡に指定されたものである。本史跡の管理団体である能美市(昭和50年7月8日付文化庁告示第8号)では、史跡の適切な保存管理の指針を具体化するために保存管理計画を策定することとし、「史跡能美古墳群保存管理計画策定委員会」を設置、平成25・26年度にわたり検討を行った。各年度の事業内容は下記のとおりである。

#### 【平成25年度(市単独事業)】

- ・史跡能美古墳群保存管理計画策定委員会の開催(1回)
- ・歴史的、自然的、社会的調査の実施

#### 【平成26年度(国庫・県費補助事業)】

- ・史跡能美古墳群保存管理計画策定委員会の開催(3回)
- ・西山古墳群における現況地形図の作成
- ・歴史的、自然的、社会的調査の実施
- ・保存管理計画書(本書)の刊行

### 第2節 計画の目的

史跡能美古墳群は、北陸地方における古墳時代の具体相を知るうえで欠くことのできない重要な遺跡であることから、これを適切に保存し、将来にわたって確実に継承していかなければならない。

本史跡は、5つの支群により構成され、各支群は南北1km、東西2kmの範囲にまとまる独立丘陵上に立地している。このうち新たに追加指定を受けた西山古墳群については、土地の所有者が多く、さらに高齢化や世代交代により森林の保全等が困難となるなど管理上の課題を抱えている。いっぽうで、既に史跡指定を受けていた寺井山古墳群(「寺井山遺跡」として県指定史跡)、和田山・末寺山古墳群(国指定史跡)、秋常山古墳群(国指定史跡)については保存整備が完了し、史跡公園として保護が図られている。しかし、整備完了から30年以上経過したものもあり、また、市街地にあることから周辺環境の変化も大きく、将来を見据えた保存管理のあり方を改めて検討する必要がある。何よりも今回の指定は、史跡能美古墳群としての一体的な文化財的価値が認められたものであり、保存管理についても統一的な指針をもってあたることが望ましい。

保存管理計画策定の目的は、史跡の様々な現状と課題を整理したうえで、史跡の本質的価値と構成要素を明確化し、それらを適切に保存管理していくための基本方針や具体的な方法を定めると同時に、将来の整備活用及びその適切な運営方法等の方向性を示すことにある。

### 第3節 委員会の設置

保存管理計画の策定にあたって、史跡能美古墳群保存管理計画策定委員会を設置した。委員会は学識経験者6名、教育関係者2名、地元関係者3名の計11名で構成し、事務局を能美市教育委員会生涯学習課に設置した。

表1 史跡能美古墳群保存管理計画策定委員

|           | 氏 名                                                                | 役 職               |
|-----------|--------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 委 員 長     | 谷 内 尾 晋 司                                                          | 石川考古学研究会会長        |
| 副 委 員 長   | 吉 岡 泰 英                                                            | 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館館長 |
| 委 員 (考 古) | 河 村 好 光                                                            | 石川考古学研究会代表幹事      |
| 〃         | 高 橋 浩 二                                                            | 富山大学人文学部准教授       |
| 〃 (郷土史)   | 石 川 友 之                                                            | 能美市文化財保護審議会会長     |
| 〃 (動植物)   | 安 田 二 三 男                                                          | 能美市文化財保護審議会委員     |
| 〃 (教 育)   | 南 山 修 一                                                            | 能美市議会教育福祉常任委員会委員長 |
| 〃         | 竹 本 明 彦                                                            | 福岡小学校校長           |
| 〃 (地 元)   | 宮 田 俊 英 (～平成26年)<br>東 方 建 一 郎 (平成27年～)                             | 徳久町会長             |
| 〃         | 山 岸 義 正 (～平成26年)<br>西 田 正 平 (平成27年～)                               | 高座町会長             |
| 〃         | 山 崎 善 守 (～平成26年)<br>南 長 一 郎 (平成27年～)                               | 秋常町会長             |
| 事 務 局 指 導 | 文化庁文化財部記念物課                                                        |                   |
| 〃         | 石川県教育委員会事務局文化財課                                                    |                   |
| 事 務 局     | 能美市教育委員会生涯学習課<br>事務局長 能美市教育長 前田 英夫 ～平成26年3月31日<br>中嶋 敏一 平成26年4月3日～ |                   |

任期：平成26年2月4日～平成27年3月31日

## 史跡能美古墳群保存管理計画策定委員会設置要綱

## (設置)

第1条 史跡能美古墳群（寺井山古墳群、和田山古墳群、末寺山古墳群、秋常山古墳群及び西山古墳群）の恒久的な保存管理のために必要な計画を策定するため、史跡能美古墳群保存管理計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## (任務)

第2条 委員会は、能美市が行う史跡能美古墳群の保存管理計画策定に関し、必要な指導助言を行うものとする。

## (組織)

第3条 委員は、学識経験者、教育関係者及び地元関係者のうちから、能美市教育委員会が委嘱する。

## (任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日から平成27年3月31日までとする。

## (正副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は委員の互選により定め、副委員長は委員長が指名する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故がある時は、その職務を代理する。

## (会議)

第6条 委員会は、委員長が召集し、委員長がその議長となる。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

## (事務局)

第7条 委員会の事務局は、能美市教育委員会生涯学習課に置く。

2 委員会の庶務は、事務局で処理する。

## (その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、別に能美市教育委員会教育長が定める。

## 附則

1 この要綱は、平成26年2月4日から施行する。

2 最初に開催される委員会の会議は、第6条の規定に関わらず、能美市教育委員会教育長が召集する。

表2 史跡能美古墳群保存管理計画策定委員会の経過

| 委員会 | 日時・場所                                                                               | 出席者                                                       | 内容                                                  |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 第1回 | 平成26年2月4日（火）<br>午後1時30分～<br>【会議】寺井地区公民館201会議室                                       | 谷内尾・吉岡・河村・<br>高橋・南山・竹本・<br>石川・安田・山崎・<br>山岸・宮田             | ・史跡能美古墳群の概要と<br>これまでの経過について<br>・保存管理計画の策定方針<br>について |
| 第2回 | 平成26年7月2日（水）<br>午後1時30分～<br>【視察】西山古墳群・秋常山古墳群・<br>能美まほろばの里古代体験館<br>【会議】寺井地区公民館201会議室 | 谷内尾・河村・高橋・<br>竹本・石川・安田・<br>山崎・山岸・宮田                       | ・植物調査の結果について<br>・整備と活用について<br>・運営及び体制整備に<br>ついて     |
| 第3回 | 平成26年10月30日（木）<br>午後1時30分～<br>【視察】和田山古墳群・<br>能美市立歴史民俗資料館<br>【会議】寺井地区公民館201会議室       | 谷内尾・吉岡・河村・<br>南山・竹本・石川・<br>安田・山崎・山岸・<br>宮田                | ・保存と管理について                                          |
| 第4回 | 平成27年3月3日（火）<br>午前10時00分～<br>【会議】寺井地区公民館201会議室                                      | 谷内尾・吉岡・河村・<br>高橋・南山・竹本・<br>石川・安田・宮田・<br>東方・山岸・西田・<br>山崎・南 | ・史跡能美古墳群保存管理<br>計画案について<br>・今後の計画について               |



写真1 委員会風景